別添資料１

新型コロナウイルス感染症予防について（学校再開に向けての共通確認）

2020.5.18(月)　　養護教諭

１．健康観察及び体調不良者の対応

○健康観察方法（朝の健康観察は特に念入りに）

毎朝、「検温及び健康観察シート」を確認し、健康観察を行う。

家庭で検温できなかった児童は、教室で検温し記入する。（自分で 又は担任）

授業中や休み時間等、適宜健康観察

○体調不良者の対応（養護教諭不在時も同様の対応を）

体の調子が悪いと感じたら、すぐに先生に伝えるよう児童へ指導する。

体調不良者は、保健室へ･･･★けが等の対応、体調不良による早退児童が重ならないようにする。

問診、検温行い、早退等の対応･･･★早退基準：倦怠感や咳等の風邪症状あればすぐに帰す。

37.5℃以上の発熱又は平熱より１℃高い 等（**※37.5℃以上が基準とはならない。**）

２．欠席者の把握と連絡（※毎日、市教委と学校欠席者・感染症情報システムへの報告）

○２校時休み時間までに出席簿提出（コロナに関連する欠席はＸテ扱い、理由の記載）

○発熱・風邪症状での継続欠席、欠席者の増加等ある場合は、すぐに報告

３～６．手洗い、マスク着用、咳エチケット、規則正しい生活（抵抗力を高める）

○保健教育

登校日に、**「児童用チェックシート」**を実施し、家庭へ啓発する。

新型コロナウイルス感染症の予防（文部科学省）資料を活用し指導する。

◎こまめに手洗いを促す声かけ　石けんを使って 20 秒以上、ハンカチ持参

手洗いのタイミング：登校後、外から教室へ戻った時、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、給食の前後、トイレの後、みんなで使う物を触った後、休み時間等

◎マスク着用の指導、未着用の児童へは学校用布マスクや簡易マスクで対応する。

７．消毒の徹底（休み時間や放課後等、１日１回以上の消毒、空気中へこまめに散布）

各学級へ配布している次亜水で、多くの児童生徒等が手を触れる場所を毎日消毒する。

（ドアノブ、手すり、スイッチ、教卓、教材、教具、情報機器、蛇口、窓枠等）

８．３密の回避

○密閉の回避（換気）

２方向の窓を全開にする。エアコン稼働時は、１授業時間に１回（授業開始後 20 分後）と休み時間に窓を広く開け、５～10 分以上換気する。できるだけ締め切らずに、少し開けたり、扇風機や換気扇を活用し空気の流れをつくることが望ましい。（学校薬剤師より）

○密集の回避

学校行事や授業、休み時間の過ごし方、図書館利用方法を工夫し、密集を防ぐ。

○密接の回避

教室の座席は、授業中、１人ずつにし、離れて座る。給食時間は、前を見て食べる。

※子ども達の心理面にも配慮しながら、差別・偏見をもたないよう予防対策に取り組む。

職員も、毎日の検温・健康観察を行い、体調が悪い場合は無理をしないようにしましょう。

～☆優しい想像力☆で、気がついたことは声をかけ合い、連携を図っていきましょう～

☆保健教育資料・教材☆

保健教育指導資料（日常の保健の指導）新型コロナウイルス感染症の予防（文部科学省）

動画：「やってみよう！新型コロナウイルス感染症対策　みんなでできること」（文部科学省）

◎「だろう　じゃなくて　かもしれない　～新型コロナウイルスのお話～」

きいれ浜田クリニック　浜田 努 医師　作成（Ｊチャン＋ニュース　YOU TUBE）

↑全職員、この動画を見て子ども達を迎えてほしいです。ぜひ学級指導にもご活用ください。

各約 10 分

「健康戦士コロタイジャー特設サイト」

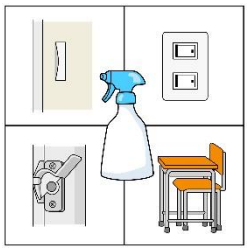
スライド：「コロナウイルスってなんだろう？」（藤田医科大学感染症科監修）

「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

（日本赤十字社）　　人権・偏見・差別

パワーポイント：上記の振り返りシート





～参考　次亜塩素酸水での消毒について　～

（取り扱い説明書より一部抜粋）

１．弱酸性の塩素系除菌・消臭水で、**ほとんどのウィルスや細菌に効果がある**と言われています。
アルコールでは手が荒れたりする方がいますが、弱酸性なので手荒れがありません。

（検証：岡山大学医学部、他）

２．汚れがあると効果が低下しますので、必ず洗浄してからお使いください。
鉄には、錆の懸念があるので、使用後は拭いてください。
消毒したい物に直接吹きかけて、きれいなフキンやペーパータオル等で拭くか、
ペーパータオル等に吹きかけ、教卓等を拭き消毒する。←電話や情報機器はこの方法で

３．食品添加物が主成分なので、誤飲や皮膚に触れても健康への懸念がありません。
→子供達の手指消毒に使いやすいということ

４．市教委より配布されている希釈タイプを、各学級、専科教室、図書館等に配布しています。
時間の経過により効果が下がってくるので、こまめに教室環境の消毒に使用し、保健室から補充してください。（目安は３週間）

５．紫外線の影響を受けやすいので、**明るい窓際には置かない**でください。効果が下がります



☆こまめな手洗いが１番大事！！

新型コロナウイルス等、感染症に人が罹患する要因の多くは、手に付着した病原微生物（細菌・ウィルス）が物に付着し、そこから手を介して鼻や口、目から体内に入ることです。**手から手へと広がることが、感染拡大のきっかけ**となります。手は見た目に汚れていなくてもウィルスが付着している可能性があるので、**手洗い習慣をつけることが、感染症対策の基本であり、最も重要**です。